

# 施策評価シート

記載年月	令和元年8月
対象年度	平成30年度

## 1 施策の名称・めざす姿

施策名	045	市民の文化・芸術活動の支援				
総合計画	基本目標		人とコミュニティをはぐくむ文化のまち（文化・学習）		主担当部課名	文化スポーツ部 文化生涯学習課
	基本施策	05	文化・芸術活動の支援			
めざす姿	長い歴史の中で培われてきた伝統芸能や芸術文化を次世代へ継承するとともに、市民の中で芸術・文化活動が活発に行われている。					

## 2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	22,470,000	19,921,000	15,871,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	0	2,700,000	0			
一般財源	22,470,000	17,221,000	15,871,000			
予算現額	21,859,000	19,921,000	0			
決算額	21,232,521	18,826,897	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	0	2,900,000	0			
一般財源	21,232,521	15,926,897	0			
執行率	97.1	94.5	0.0			
<b>(人件費)</b>						
職員数	2.35	2.29	0.00			
職員人件費	18,041,968	17,995,035	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	643,670	508,236	0			
総コスト	39,918,159	37,330,168	0			

## 3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
「市民文化の日」の来場者数	16,551	実績	12,780	-	-	-	18,000
	人	達成率	71.0	0.0	0.0	0.0	
武蔵国府太鼓伝承事業参加者数	64	実績	46	-	-	-	50
	人	達成率	92.0	0.0	0.0	0.0	
市民芸術文化祭参加者数	5,643	実績	5,468	-	-	-	5,700
	人	達成率	95.9	0.0	0.0	0.0	
市民芸術文化祭来場者数	139,856	実績	119,224	-	-	-	140,000
	人	達成率	85.2	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

### 指標の分析

指標「市民文化の日」の来場者数については、府中市美術館の天井改修等の理由により目標を達成できなかった。  
 指標「武蔵国府太鼓講習会」においては、平成27年より練習会場の定員の関係から応募資格に制限を設け、それに伴い目標値（参加者数）を修正した。  
 指標「市民芸術文化祭」について、府中市美術館の天井改修等の理由により市民文化団体が実施する事業のいくつかは、例年使用している会場より変更となった。会場の変更により、参加者及び観覧者数は減少した。

## 4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている			
達成できている点	指標 武蔵国府太鼓の講習会については、応募資格に制限を設けたことで例年に比べ応募は減ったが、少人数となったことでより充実した練習を行なうことができた。			
達成できていない点	指標 市民芸術文化祭について、府中市美術館の天井改修等の理由により市民文化団体が実施する事業のいくつかは、例年使用している会場より変更となった。会場の変更により、参加者及び参観者数は減少した。			

## 5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・民俗芸能伝承普及事業では、府中囃子、武蔵国府太鼓の伝承普及や後継者育成を行っている。府中囃子保存会の各支部において、地域に根ざした伝承・普及が行われた。武蔵国府太鼓では、武蔵国府太鼓連盟の協力により講習会を開催した。また、ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピック開催の機会を捉え、本市を訪れる海外からの来訪者や観光客などに、本市の伝統芸能を情報発信するため、武蔵国府太鼓DVDを作成し、観光情報センター、市政情報センター、市民相談室で販売を行っている。</li> <li>・市民芸術文化祭では、これまで実行委員会を組織し事業を実施してきたが、平成27年度より府中市芸術文化協会との共催により開催している。協会を中心として、市民が主体的に企画・立案を行い、市内で文化活動を行っている団体や個人が参加できる様々な催しを行うことができた。</li> <li>・10月第2日曜日を「市民文化の日」と定め、市内8つの文化施設の共同企画として多彩なイベントを実施した。</li> <li>・文化活動支援事業では、文化振興計画が平成29年度末をもって終了することに伴い、引き続き、本市における文化に関する施策を推進することを目的として法改正の趣旨を踏まえ、名称を改め平成30年度から令和7年度までを計画期間とする「府中市文化芸術推進計画」を策定した。</li> </ul>
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・武蔵国府太鼓については、市の民俗芸能として市民に認識されつつあるが、継承団体数や規模は発展途上であり、講習会の修了者の処遇と併せて課題となっている。</li> <li>・市民芸術文化祭については、文化の振興・伝統文化の次世代への継承といった観点で重要度の高い事業である。しかしながら、一般市民の集客が図れていない催物もあり、より多くの参加者・参観者に事業に携わっていただくため、効果的なPR方法についても考察する必要がある。</li> <li>・「市民文化の日」では、府中市美術館の天井改修等により減少した参加者数を取り戻すべく、8館で協力し魅力的なイベントを実施していく。</li> </ul>
今後の展開
<ul style="list-style-type: none"> <li>・府中囃子、武蔵国府太鼓ともに現状のとおり継続して実施する。平成29年度から武蔵国府太鼓の講習会会場を府中の森芸術劇場分館に変更しており、内容を工夫し実施する。</li> <li>・市民芸術文化祭については、平成27年度より府中市芸術文化協会との共催で実施したことにより、参加団体の自主性を高めた。より良い運営と更なる市民参加を目指し、引き続き、協会と協力し、参加者・参観者の増加につなげたい。</li> <li>・「市民文化の日」では、8館で協力し市民が身近な文化施設で良質な文化芸術に親しむ機会を創出する。</li> </ul>

## 6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
市民芸術文化祭運営事業	9月2日オープニングフェスティバル 12月1日閉会式 使用会場：府中の森芸術劇場・市民活動センタープラッツ・郷土の森博物館・美術館・文化センター・大國魂神社境内・ルミエール府中市民会館	9月1日オープニングフェスティバル 11月29日閉会式 使用会場：府中の森芸術劇場・市民活動センタープラッツ・郷土の森博物館・美術館・文化センター・大國魂神社境内・ルミエール府中市民会館	9月オープニングフェスティバル 11月閉会式 使用会場：府中の森芸術劇場・市民活動センタープラッツ・郷土の森博物館・美術館・文化センター・大國魂神社境内・ルミエール府中市民会館	9月オープニングフェスティバル 11月閉会式 使用会場：府中の森芸術劇場・市民活動センタープラッツ・郷土の森博物館・美術館・文化センター・大國魂神社境内・ルミエール府中市民会館
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
文化スポーツ部 文化生涯学習課	府中市芸術文化協会との共催で実施し、全41事業を実施した。9月2日に府中の森芸術劇場ふるさとホールで開催したオープニングフェスティバルでは、2部構成による様々な分野の演目を行った。			
事業種別	-----			
主要な事務事業	-----			
4か年事業費計(単位:千円)	-----			
	52,576			
市民文化の日運営事業	市内文化施設でイベントを開催することで、市民が身近な場所で良質な文化芸術に親しみ、喜びや感動を味わうことができる環境の形成をする。	市内文化施設でイベントを開催することで、市民が身近な場所で良質な文化芸術に親しみ、喜びや感動を味わうことができる環境の形成をする。	市内文化施設でイベントを開催することで、市民が身近な場所で良質な文化芸術に親しみ、喜びや感動を味わうことができる環境の形成をする。	市内文化施設でイベントを開催することで、市民が身近な場所で良質な文化芸術に親しみ、喜びや感動を味わうことができる環境の形成をする。
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
文化スポーツ部 文化生涯学習課	平成30年度は、府中市美術館の天井改修等の理由により参加者数が大幅に減少してしまったが、目標に達することができるよう8館で協力し魅力あるイベントを実施していく。			
事業種別	-----			
主要な事務事業	-----			
4か年事業費計(単位:千円)	-----			
	948			
民俗芸能伝承普及事業	府中囃子については、後継者を育成するため、府中囃子保存会に委託し伝承普及していく。武蔵国府太鼓については、広報にて講習生を募集し、講習会を実施していく。指導は武蔵国府太鼓連盟へ委託する。	府中囃子については、後継者を育成するため、府中囃子保存会に委託し伝承普及していく。武蔵国府太鼓については、広報にて講習生を募集し、講習会を実施していく。指導は武蔵国府太鼓連盟へ委託する。	府中囃子については、後継者を育成するため、府中囃子保存会に委託し伝承普及していく。武蔵国府太鼓については、広報にて講習生を募集し、講習会を実施していく。指導は武蔵国府太鼓連盟へ委託する。	府中囃子については、後継者を育成するため、府中囃子保存会に委託し伝承普及していく。武蔵国府太鼓については、広報にて講習生を募集し、講習会を実施していく。指導は武蔵国府太鼓連盟へ委託する。
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
文化スポーツ部 文化生涯学習課	府中囃子は、後継者の育成のため技術伝承を府中囃子保存会に委託し事業を継続的に展開した。武蔵国府太鼓は、武蔵国府太鼓連盟の協力により講習会を毎年開催し、府中市芸術文化祭やさくら祭りで練習の成果を発表した。			
事業種別	-----			
主要な事務事業	-----			
4か年事業費計(単位:千円)	-----			
	10,496			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

## 7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H30年度		H31年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 市民芸術文化祭運営事業	30		13,317,000	13,016,352	13,043,000	市民芸術文化祭の実施	B	1
2 民俗芸能伝承普及事業	30		6,069,000	5,380,905	2,380,000	民俗芸能の伝承普及、後継者育成	B	1
3 市民文化活動事業奨励事業	30		111,000	59,412	106,000	芸術文化活動において特に功績のあった者と、長期にわたり芸術文化団体の活動に尽力した者の表彰	B	1
4 文化活動支援事業	30		196,000	182,000	196,000	市民を対象として実施される文化事業に補助金を交付する。また、第2次府中市文化振興計画を策定	B	1
5 市民文化の日運営事業	30		228,000	188,228	146,000	市民文化の日の実施。	B	1
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			19,921,000	18,826,897	15,871,000			

# 施策評価シート

記載年月	令和元年8月
対象年度	平成30年度

## 1 施策の名称・めざす姿

施策名	046	文化施設の有効活用				
総合計画	基本目標	人とコミュニティをはぐくむ文化のまち（文化・学習）			主担当部課名	文化スポーツ部 文化生涯学習課
	基本施策	05	文化・芸術活動の支援			
めざす姿	安全で快適な文化施設が提供され、市民が文化・芸術を鑑賞・学習したり、文化・芸術活動の発表を行ったりしています。また、市民が、文化・芸術に親しむことで、文化意識が醸成され、文化の香るまち「府中」が築かれています。					

## 2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	2,051,326,000	1,688,132,000	1,366,388,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	48,700,000	0			
市債	311,000,000	226,000,000	0			
その他	310,777,000	84,672,000	53,819,000			
一般財源	1,429,549,000	1,328,760,000	1,312,569,000			
予算現額	2,115,086,000	1,729,416,000	0			
決算額	2,074,061,083	1,692,071,433	0			
国庫支出金	73,400,000	0	0			
都支出金	1,745,000	0	0			
市債	256,000,000	226,000,000	0			
その他	293,469,139	91,276,385	0			
一般財源	1,449,446,944	1,374,795,048	0			
執行率	98.1	97.8	0.0			
<b>(人件費)</b>						
職員数	14.67	17.08	0.00			
職員人件費	112,653,970	134,216,246	0			
嘱託員数	1.25	1.25	0.00			
嘱託員人件費	3,900,500	3,907,358	0			
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	8,846,130	8,867,216	0			
総コスト	2,199,461,683	1,839,062,252	0			

## 3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
郷土の森博物館入場者数	308,057	実績	274,662	-	-	-	333,000
	人	達成率	82.5	0.0	0.0	0.0	
府中市美術館入場者数	203,721	実績	144,526	-	-	-	220,000
	人	達成率	65.7	0.0	0.0	0.0	
府中の森芸術劇場3ホール平均稼働率	77.2	実績	76.1	-	-	-	78
	%	達成率	97.6	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

### 指標の分析

指標の郷土の森博物館は、夏季期間の記録的な猛暑などの影響で、夏休み期間の入場者数が大きく減少したが、リニューアルしたプラネタリウムの広報活動などにより、秋以降徐々に入場者数を回復したが、結果的に前年度数を下回った。  
 指標の美術館は、長谷川利行展をはじめ企画展入場者数220,000人という目標値には届かないものの、1日あたりの平均入場者数では1,200人となり、目標を達成できた前年度を上回っていることから、一定の評価ができる。  
 指標の府中の森芸術劇場の3ホールの稼働率は、ダイレクトメールやチラシ等による利用促進に努めた結果、基準値を上回ることができた。

## 4 施策の進ちよく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちよく状況	目標達成に向け順調に進ちよくしている			
達成できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館では、園内植栽が充実し四季折々の花が楽しめるヒーターを獲得しつつある。</li> <li>・美術館では、1日当たりの平均入場者数が目標を達成できた前年度を上回っており、一定の評価ができる。</li> <li>・芸術劇場は、DM等の利用促進により、稼働率が基準値を上回ることができた。</li> </ul>			
達成できていない点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館では、リニューアル後の番組が利用者のニーズと合致せず、博物館全体の相乗効果が十分に図れなかった。</li> <li>・美術館では入場者数目標達成が72%に留まり、また、機械設備の一部に更新ができていない。</li> <li>・芸術劇場では、老朽化が進んでいる部分の修繕を計画的に行っていく必要がある。</li> </ul>			

## 5 施策の評価

## これまでの主な取組と成果

・郷土の森博物館については、昭和62年の開館以来、多くの方々にご利用いただくとともに、ふるさと府中の貴重な歴史資料を収集・保管・活用してきた。多摩地区の総合博物館として、市外からの入館者も多く、本市の歴史・文化の拠点ともいえる教育施設である。また、学校教育との連携など地域に根ざした、市民とともに働く博物館として、市民の評価も高い。平成28年度より天文部門の運営に民間組織である(株)五藤光学研究所が指定管理者として参画し、より効果的な運営を目指す。平成29年度よりプラネタリウムの改修工事を実施し、平成30年度にリニューアルオープンした。

・美術館では、展覧会(企画展、所蔵品及び常設展)の開催、美術普及事業(公開制作、ワークショップ、アートスタジオ等)の実施、ボランティアの育成、美術品の収集、美術図書資料の整備、美術鑑賞教室事業の実施、市民ギャラリーの貸出等を行ってきた。

・府中の森芸術劇場では、適正かつ計画的な維持管理運営に努めた。平成28年度は開館25周年を迎え、記念事業を中心に様々な事業を展開し、文化活動の拠点として多くの市民にご利用いただいた。また、府中の森芸術劇場分館が平成29年7月に開館して、開館時には記念事業を開催するなど更なる市民の芸術文化活動の振興に努めた。

## 今後の課題、状況や市民ニーズの変化

・博物館では、リニューアルが完了したプラネタリウムの特別投映等関連事業の充実化を図り、博物館全体の活性化を継続させる。

・美術館では、入館者数の増加、経営改善への取組、教育普及活動の充実などに加え、地域との積極的な交流とボランティアとの連携など市民協働の取組も重要となってきている。

・博物館、美術館、芸術劇場ともに、老朽化の進んだ施設の修繕等の対応が課題となっている。

## 今後の展開

・博物館では、目標を達成するとともに、博物館本館常設展示室やプラネタリウムを教育資源として活用していくために、学校との連携を強化していく。これまでの実績を活かし、地域に根ざした博物館活動を行うとともに、さらなる事業の充実を図る。

・美術館では、「生活と美術―美と結びついた暮らしを見直す美術館」という基本テーマの理念に沿い、市民に親しまれる美術館活動を引き続き行い、収集保存・展示活用・教育普及の3つのバランスのとれた美術館運営を図っていく。また、開館20周年を迎える2020年は、「東京2020オリンピック・パラリンピック」競技の一部が本市内で開催されることから、多くの外国人観光客の入場が見込める。そのため、トイレの洋式化やバリアフリーの向上に努め、利用者の利便性の向上を図る。

・府中の森芸術劇場では、平成29年度に開館した分館の運営とあわせて、指定管理者である公益財団法人府中文化振興財団と連携し施設の適正な管理・運営に努める。本館は、施設の老朽化に伴い、これまで改修を行っていない設備の改修を計画的に進める。

## 6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
府中の森芸術劇場管理運営事業	指定管理に係る基本協定書に基づき運営する。経年劣化による不具合が生じている設備について、修繕等を計画的に行う。	指定管理に係る基本協定書に基づき運営する。経年劣化による不具合が生じている設備について、修繕等を計画的に行う。また、第4期指定管理者候補者の選定を行う。	指定管理に係る基本協定書に基づき運営する。経年劣化による不具合が生じている設備について、修繕等を計画的に行う。また、第4期指定管理者候補者の選定を行う。	指定管理に係る基本協定書に基づき運営する。経年劣化による不具合が生じている設備について、修繕等を計画的に行う。
<b>【進捗状況】</b>	目標達成に向け順調に進ちよくしている	<b>【進捗状況】</b>	<b>【進捗状況】</b>	<b>【進捗状況】</b>
<b>所管部署</b>	-----			
文化スポーツ部 文化生涯学習課	指定管理と連携し施設の適正な維持管理・運営に努めており、ダイレクトメールやポスター等により利用促進を図り稼働率が基準値を上回った。本館は老朽化が進んだ箇所について、今後修繕計画を立てていく必要がある。			
<b>事業種別</b>	-----			
主要な事務事業	-----			
<b>4か年事業費計(単位:千円)</b>	-----			
1,271,724	-----			
郷土の森博物館管理運営事業	管理・運営に関する基本協定書に基づき運営する。改修工事が完了するプラネタリウムを活かした魅力的な事業を展開し、入場者増を図る。また、今後予定している大規模改修等に向けた調査を行う。	管理・運営に関する基本協定書に基づき運営する。魅力的な事業を増やし、入場者増を図る。本館常設展示室の特定天井改修に向けて実施設計を行う。改修工事の際の博物館運営の方針を検討する。	管理・運営に関する基本協定書に基づき運営する。本館常設展示室の特定天井改修工事を実施して来場者の安全を確保する。魅力的な事業を工夫して実施し、工事に伴う入場者減を最小限に止める。	管理・運営に関する基本協定書に基づき運営する。魅力的な事業を実施し、入場者増を図る。老朽化による不具合設備の修繕のほか、博物館本館の大規模改修に向けた実施設計を行う。
<b>【進捗状況】</b>	やや遅れているが、概ね順調	<b>【進捗状況】</b>	<b>【進捗状況】</b>	<b>【進捗状況】</b>
<b>所管部署</b>	-----			
文化スポーツ部 ふるさと文化財課	プラネタリウムの番組構成が利用者のニーズと合わなかったこともあり、入場者数が減になったが、特別放映や積極的な広報活動により、プラネタリウム観覧者が増加しつつある。			
<b>事業種別</b>	-----			
主要な事務事業	-----			
<b>4か年事業費計(単位:千円)</b>	-----			
1,082,680	-----			
美術館維持管理事業	適正な施設管理に努めるとともに、利用者の増加を図る。経営改善のための取組を継続。ボランティアとの協働を推進する。また、特定天井改修工事を行い、施設の安全性の向上を図る。	適正な施設管理に努めるとともに、利用者の増加を図る。経営改善のための取組を継続。ボランティアとの協働を推進する。施設の不具合箇所の改善に努め、施設整備の適正化を図る。	適正な施設管理に努めるとともに、利用者の増加を図る。経営改善のための取組を継続。ボランティアとの協働を推進する。施設の不具合箇所の改善に努め、施設整備の適正化を図る。	適正な施設管理に努めるとともに、利用者の増加を図る。経営改善のための取組を継続。ボランティアとの協働を推進する。施設の不具合箇所の改善に努め、施設整備の適正化を図る。
<b>【進捗状況】</b>	目標達成に向け順調に進ちよくしている	<b>【進捗状況】</b>	<b>【進捗状況】</b>	<b>【進捗状況】</b>
<b>所管部署</b>	-----			
文化スポーツ部 美術館	目標は達成できなかったものの、長期休館に伴う開館日数(128日)の減少を考慮すると一定の評価はできる。経営改善のため、賛助会員制度の利便性の向上を図られるよう見直した。また、施設の不具合箇所の洗出しを行ったが、一部予算に反映できていない。			
<b>事業種別</b>	-----			
主要な事務事業	-----			
<b>4か年事業費計(単位:千円)</b>	-----			
476,228	-----			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

## 7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H30年度		H31年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 旧府中グリーンプラザ財産処分等閉館事務	30		26,423,000	26,683,700	0	旧府中グリーンプラザ閉館に伴う事務	D	2
2 市民会館管理運営事業	30		173,532,000	171,555,734	177,150,000	市民会館の管理及び業務運営	B	1
3 府中の森芸術劇場管理運営事業	30		368,460,000	362,239,584	367,033,000	府中の森芸術劇場の管理及び運営	B	1
4 補助金 文化振興財団	30		241,598,000	233,820,090	245,249,000	府中の森芸術劇場・府中市郷土の森博物館の自主事業の支援	B	1
5 郷土の森博物館管理運営事業	30		587,491,000	587,222,476	322,953,000	郷土の森博物館における維持管理・企画運営に係る事業	A	
6 美術館維持管理事業	30		205,430,000	204,680,588	149,144,000	府中市美術館の管理及び運営	B	1
7 美術館展覧会運営事業	30		66,702,000	89,945,091	76,313,000	企画展の開催	A	
8 美術館常設展等運営事業	30		18,496,000	15,924,170	28,546,000	所蔵品展及び常設展の開催	B	1
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			1,688,132,000	1,692,071,433	1,366,388,000			



# 施策評価シート

記載年月	令和元年8月
対象年度	平成30年度

## 1 施策の名称・めざす姿

施策名	047	歴史文化遺産の保存と活用				
総合計画	基本目標	人とコミュニティをはぐくむ文化のまち（文化・学習）			主担当部課名	文化スポーツ部 ふるさと文化財課
	基本施策	05	文化・芸術活動の支援			
めざす姿	協働による歴史文化遺産の保存・活用や、市史刊行物の教育等の場での活用が進み、市民をはじめとする多くの人々が本市の歴史と文化遺産について学び、その価値に対する理解を深めています。それによって、「歴史と伝統あるまち・府中」への市民の郷土愛が育まれています。					

## 2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	496,194,000	246,234,000	175,874,000			
国庫支出金	189,990,000	22,100,000	18,400,000			
都支出金	93,675,000	10,175,000	8,300,000			
市債	0	0	0			
その他	40,000	40,000	4,130,000			
一般財源	212,489,000	213,919,000	145,044,000			
予算現額	385,839,400	350,162,600	0			
決算額	369,315,123	335,235,018	0			
国庫支出金	122,353,000	57,835,000	0			
都支出金	86,650,000	8,800,000	0			
市債	0	0	0			
その他	2,529,800	25,920	0			
一般財源	157,782,323	268,574,098	0			
執行率	95.7	95.7	0.0			
<b>(人件費)</b>						
職員数	12.10	12.10	0.00			
職員人件費	92,947,650	95,082,937	0			
嘱託員数	8.75	8.75	0.00			
嘱託員人件費	27,303,500	27,351,503	0			
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	698,190	1,877,183	0			
総コスト	490,264,463	459,546,641	0			

## 3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
ふるさと府中歴史館入場者数	88,962	実績	79,642	-	-	-	100,000
	人	達成率	79.6	0.0	0.0	0.0	
武蔵府中熊野神社古墳展示館入場者数	10,138	実績	12,699	-	-	-	16,000
	人	達成率	79.4	0.0	0.0	0.0	
府中市史編さん事業による刊行物の累計発行点数(種類)	-	実績	2	-	-	-	9
	種類	達成率	22.2	0.0	0.0	0.0	
武蔵国府跡国司館地区入場者数	20,000	実績	14,459	-	-	-	35,000
	人	達成率	41.3	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

### 指標の分析

ふるさと歴史館及び武蔵府中熊野神社古墳展示館の入場者数はおおむね増加傾向であり、学校利用等での活用も増加しているため、各施設の認知度が着実に向上していると考えられる。武蔵国府跡国司館地区についても、供用開始から4か月で、歴史文化遺産の理解を深める施設としての役割を果たしつつある。

## 4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている			
達成できている点	ふるさと府中歴史館の入場者数は天候の影響等で若干減少したが、武蔵府中熊野神社古墳展示館では増加した。また、国司館地区が供用開始になり、多くの利用があったことから、史跡の周知ができている。			
達成できていない点	拠点となる歴史文化遺産だけでなくそのほかの歴史文化遺産ともネットワーク化し、より広範囲の歴史文化遺産として活用していくこと。			

## 5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<p>埋蔵文化財保存活用事業は、昭和50年の文化財保護法一部改正に伴い、府中市遺跡調査会を発足して以降現在まで市内の埋蔵文化財包蔵地で市民の理解と協力により、1,800箇所を超える発掘調査を実施してきた。平成27年度は府中市遺跡調査会40周年記念事業として、40年に及ぶ調査成果を紹介し、多くの市民に発掘調査の重要性と貴重な成果を知っていただく機会となった。</p> <p>武蔵国府跡は、40年近くに及ぶ発掘調査を継続してきた結果、大國魂神社境内地及びその東側に国衙跡が所在していたことが確定し、平成21年7月に国史跡の指定を受けた（国衙地区）。また、平成20年から22年にかけてJ R府中本町駅前で行われた発掘調査において、初期の国司館跡と推定される大型建物群が発掘され、平成23年2月に国史跡の追加指定を受けた（国司館地区）。この地区については、平成23年度に市民主体の懇談会からの提言、平成24年度に保存整備活用基本計画の策定、平成25年度に武蔵国府跡全体の保存管理計画の策定、平成26年度に基本設計、平成27年度に実施設計を実施し、平成28年度に保存活用整備工事第一期に着手、平成29年度には柱の復元等の整備を実施し、平成30年3月に竣工した。</p> <p>ふるさと府中歴史館の整備は、平成20年度に建築工事と展示工事の実施設計を行い、全体計画を取りまとめ、1階を「国府資料展示室」と「万葉集の世界」と「くらやみ祭紹介コーナー」、2階を「宮町図書館」と「公文書史料展示室」と「事務室」、3階を「事務室」と「国府資料室」として整備した。平成21年度からは耐震改修工事、各種設備工事、展示工事を進め、平成23年4月に開館となった。</p>
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<p>市民の協力によって実施してきた埋蔵文化財発掘調査の成果をいかに市民に還元するか、過去の発掘成果を公にする調査報告書の早期刊行、原因者に負担を求めている発掘調査費の軽減などが課題である。</p> <p>国史跡武蔵国府跡（国司館地区）の保存整備活用にあたっては、史跡の保存とJ R府中本町駅前のにぎわいと魅力ある空間の両立を目指し、設計・施工を進めていく。</p> <p>ふるさと府中歴史館については、くらやみ祭展や発掘された最新の遺物の展示のほか、公文書史料展示室における貴重な史料の公開などにより内容の充実を努め、多くの来館者やリピーターの確保につなげていきたい。</p>
今後の展開
<p>埋蔵文化財保存活用事業における発掘調査成果は、今後もフォーリスを会場とする「発掘お宝展」等により市民に周知する。また発掘調査の体制やあり方について、事業主の要求に対して素早く対応できる体制が求められており、遺跡調査会の諸環境も含め検討が必要である。</p> <p>武蔵国府跡は、史跡の歴史的価値を広く市内外へ発信するため、市民と協働で活用を図っていく。</p> <p>ふるさと府中歴史館は、府中市の歴史や文化を紹介し、広く市民の郷土愛を高める施設として、多くの方に来館していただく施設としたい。ふるさと府中歴史館にある歴史資料の整理・保管・管理の進め方等について、今後検討する必要がある。</p>

## 6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
埋蔵文化財保存活用事業	緊急発掘調査、保存目的確認調査の実施。調査報告書の作成・再整理及び刊行済み報告書のデータ化。フィルム類のデジタル化、埋蔵文化財情報データベースシステムの更新。遺物の保存処理。埋蔵文化財整理事務所の管理。	緊急発掘調査、保存目的確認調査の実施。調査報告書の作成・再整理及び刊行済み報告書のデータ化。フィルム類のデジタル化、埋蔵文化財情報データベースシステムの更新。遺物の保存処理。埋蔵文化財整理事務所の管理。	緊急発掘調査、保存目的確認調査の実施。調査報告書の作成・再整理及び刊行済み報告書のデータ化。フィルム類のデジタル化、埋蔵文化財情報データベースシステムの更新。遺物の保存処理。埋蔵文化財整理事務所の管理。	緊急発掘調査、保存目的確認調査の実施。調査報告書の作成・再整理及び刊行済み報告書のデータ化。フィルム類のデジタル化、埋蔵文化財情報データベースシステムの更新。遺物の保存処理。埋蔵文化財整理事務所の管理。
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
	所管部署			
	文化スポーツ部 ふるさと文化財課			
	事業種別			
	主要な事務事業			
4か年事業費計(単位:千円)				
	236, 236			
武蔵国府跡保存活用事業	武蔵国府跡は、史跡の歴史的価値を広く市内外へ発信するため、市民と協働で活用を図っていく。また、武蔵国府跡（国司館地区）の保存整備活用にあたっては、史跡の保存とJR府中本町駅前のにぎわいと魅力ある空間の両立を目指し、第2期の設計・施工を進めていく。	武蔵国府跡は、史跡の歴史的価値を広く市内外へ発信するため、市民と協働で活用を図っていく。また、武蔵国府跡（国司館地区）の保存整備活用にあたっては、史跡の保存とJR府中本町駅前のにぎわいと魅力ある空間の両立を目指し、第2期の設計・施工を進めていく。	武蔵国府跡は、史跡の歴史的価値を広く市内外へ発信するため、市民と協働で活用を図っていく。また、武蔵国府跡（国司館地区）の保存整備活用にあたっては、史跡の保存とJR府中本町駅前のにぎわいと魅力ある空間の両立を目指し、第2期の設計・施工を進めていく。	武蔵国府跡は、史跡の歴史的価値を広く市内外へ発信するため、市民と協働で活用を図っていく。また、武蔵国府跡（国司館地区）の保存整備活用にあたっては、史跡の保存とJR府中本町駅前のにぎわいと魅力ある空間の両立を目指し、第2期の設計・施工を進めていく。
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
	所管部署			
	文化スポーツ部 ふるさと文化財課			
	事業種別			
	主要な事務事業			
4か年事業費計(単位:千円)				
	45, 997			
ふるさと府中歴史館管理運営事業	館の管理運営のほか歴史的な文書資料の選別、収集、整理及び保存を継続する。文化財情報データベースシステムを運用する。特別展として、くらやみ祭展や夏休み子ども向け展示を開催するとともに、長年にわたる発掘調査における研究成果の企画展示や、歴史講座などを開催する。	館の管理運営のほか歴史的な文書資料の選別、収集、整理及び保存を継続する。文化財情報データベースシステムを運用する。特別展として、くらやみ祭展や夏休み子ども向け展示を開催するとともに、長年にわたる発掘調査における研究成果の企画展示や、歴史講座などを開催する。	館の管理運営のほか歴史的な文書資料の選別、収集、整理及び保存を継続する。文化財情報データベースシステムを運用する。特別展として、くらやみ祭展や夏休み子ども向け展示を開催するとともに、長年にわたる発掘調査における研究成果の企画展示や、歴史講座などを開催する。	館の管理運営のほか歴史的な文書資料の選別、収集、整理及び保存を継続する。文化財情報データベースシステムを運用する。特別展として、くらやみ祭展や夏休み子ども向け展示を開催するとともに、長年にわたる発掘調査における研究成果の企画展示や、歴史講座などを開催する。
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
	所管部署			
	文化スポーツ部 ふるさと文化財課			
	事業種別			
	主要な事務事業			
4か年事業費計(単位:千円)				
	100, 040			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

## 7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H30年度		H31年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 歴史文化財保存活用事業	20		7,648,000	9,733,011	11,638,000	市内文化財の保存及び活用	B	1
2 埋蔵文化財保存活用事業	20		56,723,000	51,270,336	59,901,000	市内の地下に保存されてきた埋蔵文化財(遺跡)の保護・活用	B	1
3 武蔵国府跡保存活用事業	20		18,341,000	90,069,793	7,107,000	国史跡武蔵国府跡の保存・活用	A	
4 文化財整備事業	10		77,410,000	88,422,640	70,000	市内文化財の保存及び活用を図るために、整備工事を実施する。	B	1
5 ふるさと府中歴史館管理運営事業	30		25,474,000	47,758,302	26,493,000	「ふるさと府中歴史館」として管理・運営する。	B	1
6 武蔵府中熊野神社古墳展示館管理運営事業	20		7,154,000	6,223,133	11,122,000	国史跡 武蔵府中熊野神社古墳展示館の管理、運営	B	1
7 市史編さん事業	30		53,484,000	41,757,803	59,543,000	府中市史編さん事業	B	1
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			246,234,000	335,235,018	175,874,000			